

令和3年度 第3回多賀町立図書館協議会会議録 (抜粋)

開催日時	令和4年2月1日(火) 午後3時30分～午後5時00分
開催場所	あけぼのパーク多賀 2階大会議室
出席者	<p>会長 小林 紳悟 副会長 川瀬 修 委員 長谷川 毅 委員 火口 悠治 委員 夏原 晃久 委員 桐山 圭市 委員 宮野由紀絵</p>
事務局	大岡館長、岸本課長補佐、建部係長
欠席者	松林 淑子、武山 由紀
協議事項等	<p>(1) 小林会長あいさつ (2) 大岡館長あいさつ (3) 協議・報告事項 ①利用者の利用状況数について ②令和4年度図書館カレンダーについて ③令和4年度移動図書館車の運行について ④令和4年度事業(映画会およびおはなしのじかん等)について (4) その他</p>
内 容	
<p>(1) 小林会長あいさつ (2) 大岡館長あいさつ (3) 協議・報告事項について</p> <p>会 長 事務局より協議・報告事項について説明願います。</p> <p>事務局 本日の欠席委員の報告。</p> <p>① 利用者の利用状況について 会 長 次第に沿って事務局より説明願います。</p>	

事務局 今年度の貸出冊数を、12月末時点で報告をさせていただく。前年度同時期と比べ、約500冊程度多くなっている。残り3カ月間を、図書館を閉めることなく注意して運営していく。

会長 このことについて、何か質問やご意見はありますか。

委員 統計で、年齢ごとによく読まれている本を出すことはできるか。読み聞かせをするのに、3歳から5歳児にはどのような本に人気があるのか参考にしたい。小学生や中学生までぐらいで、年齢ごとにベスト5を抽出など。

事務局 図書館だよりに、絵本・児童書それぞれベスト5を掲載している。

委員 ベスト5などをポップとして張り出してあると良いのでは。利用者により分かりやすくなる。

委員 貸出冊数の延長という項目ですが、延長したら貸出カウントをしているのか。

事務局 延長は1カウントである。

委員 通常、延長では貸出冊数には、カウントしない。通常の貸出は、3週間+1週間（延長）で1貸出となる。

事務局 後日、図書館システム業者に確認する。

委員 図書館の利用者は、リピーターが多いと思うが、新たな利用者がどの程度借りているのかがわかるか。図書館の取り組みの効果がわかるのではないか。

委員 統計として出そうとすると、今年度に新しくカードを作った方に限定する必要があるのでは、その条件が付けられるかはシステムによるのでは。

② 令和4年度図書館カレンダーについて

会長 事務局より説明願います。

事務局 毎年度、1月に県立図書館による休館日調査があり、今回はそれを提示している。図書館の休館日は、日曜日・祝日・第3日曜日・月末木曜日、それと特別整理休館日（10日間余り）で、特別整理休館日については、HPでお知らせしている。

委員 3月30日は特別開館となっているが、何か理由があるのか。

事務局 まず、春休みの期間中であることが第一の理由。次に、職員の異動時期と重なるため、3月は変則している。なお、今年度も同様の対応をしている。

③令和4年度移動図書館「さんさん号」の運行について

会長 事務局より説明願います。

事務局 前回の協議会で、巡回場所の変更は説明したが、時間帯は、決定していなかった。今回は、時間帯の調整が終了したので改めて説明をさせていただく。なお、高齢者施設からコロナ禍が終息するまで、巡回休止を要望されることがある。

委員 1月5日の巡回で、ふれあいの郷前に行かれたが、その時期の多賀大社は参拝者が多く、駐車場を運営さしている観光協会は大変苦勞されたようだ。12月の時点で、観光協会にその旨の連絡をしておく必要があったと思う。

事務局 確かに巡回日でした。今後は、事前に関係団体に連絡をさせていただく。

④令和4年度事業(映画会およびおはなしのじかん等)について

会長 事務局より説明願います。

事務局 新年度に入り、コロナの状況によっては、中止となる場合もあるかもしれないが、感染対策をしながら事業の実施を考えている。

会長 映画会で、1月から3月に上映しない理由は何かあるのか。子ども向けの映画会が多いようだが、大人向けの映画会はないのか。

事務局 上映予定表の中で子ども向は、アニメと記載されているもの7本。大人向け(一般向け)としては、8月の戦争および漫談ライブを2本計画している。

委員 映画会の案内場所に、関係する本の展示もしているのか。

会長 ニーズとマッチングさせること、仕掛けづくりが重要である。

委員 おはなしのじかんの人数で先着とあるが。

事務局 この部屋の上限を10人としている。

委員	親子で来たら5組ということか。
事務局	そうです。但し、親子で1人2人多くなる場合は参加してもらっている。
委員	おはなしのじかんは、小さいお子さん向けか、高齢者向けには何かできないか。例えば、地域のサロンに来てほしいと要望すれば来てもらえるか。
事務局	水谷地区へ出前講座として、おはなし会に行ったことがある。出前講座は生涯学習課で担当しており、メニューとして、おはなし会があり、生涯学習課に申し込み、日程および内容調整を経て、地元に出向いていくものです。
委員	「このゆびとまれ」に言ってもらえば、行かせてもらえる。現在、6人ぐらいのサークルです。川相に行ったこともある。
事務局	文化協会の出前講座もあるので、チラシをご覧いただきたい。
委員	学校支援ボランティアやサークルに対する、絵本の読み聞かせ研修などは可能か。可能であれば、この図書館で、司書による読み聞かせに必要なスキルとして、読み方、本の選び方、立ち位置などを指導してもらいたい。自分なりのやり方で読み聞かせをされている方も多く。職員のスキルを生かしてボランティア育成をしてほしい。
事務局	検討をさせていただく。今年度図書館司書が会計年度任用職員さんに読み聞かせの指導をした。また、1昨年度には、湖東圏域内図書館職員が参加し、読み聞かせ研修会も開催されている。今後、このような機会があればお声掛けさせていただく。
会長	それでは、次のその他について、事務局より説明願います。
事務局	第3次多賀町子ども読書活動推進計画を策定し、12月に第2回目の推進会議を開催した。お配りした資料は、各課・部署が令和3年度の組織目標に対して評価したものです。今回、図書館協議会の委員の皆様へ外部評価をいただくに当たり、評価の仕方などにつき、本日、何かあればご意見をいただきたい。なお、外部評価は、令和7年度にお願いするもの。
会長	説明のあった評価表について何かご意見はありますか。
委員	目標の設定は確定したものか。

会 長	目的、ゴール、進捗度、何を指し、どこを目指すのか。どこまで行けば到達とするのか。
事務局	第3次多賀町子ども読書活動推進計画となっている。第2次までの計画では進んでいないものもあった。全体の底上げも含め、実効性を持たせたい。
委 員	図書館が、YA図書を10冊受け入れるとあるが、10冊買うことが、根本的な目標となるのか。購入するだけならどうでもできる。現在YA図書は開架で何冊ぐらいあるのか。10冊増やす目標は少ない。
事務局	評価については、数値目標で表している。その方が評価しやすいため。
委 員	図書館目標として、買う冊数が目標では困る。数値ではあるが目標とはいえない。それでは、YAサービスをどうしたいのか、なにがしたいのか、その結果として見えてこない。
会 長	小・中学校もあって、その中で図書館もということか。洗い出しの項目はどう決めたのか。
事務局	それぞれの組織・部署で決めていただいた。
会 長	この項目で進めるのか。この5年間で何か意思決定をするのか。
事務局	今回、初めて外部評価を取り入れようとするにで、何かご意見をいただきたい。
会 長	計画を実行するうえでの意見ですね。
事務局	自己評価を各組織でして、報告を協議会にさせていただこうと考えている。
委 員	。計画を知らずに結果を評価するというのは難しいのではないかと。委員は、経緯を知らずに、ここに書かれていることを説明されていない。また、どうして図書館協議会が外部評価をするのか。これは多賀町子ども読書活動推進委員会がすべきではないのか。計画の流れとしては推進委員会でした方がよいのでは。
事務局	推進委員会では内部評価となってしまう、外部評価としていきたい。
委 員	それなら図書館協議会の会長などに最初から携わってもらう必要があるのでは。

はないか。最後だけ見るのではなく、最初から計画に携ることで、評価できるのではないか。5年目だけを評価するのではなく。

館長 例えば、図書館で外部評価をして、それを図書館協議会に報告する形でみてもらうのはどうか。

会長 わからない者が評価するというのはどうか。

館長 この件については、再度検討させていただく。

委員 この計画は何年目なのか。

事務局 1年目です。この計画は図書館だけが計画するものではなく、読書に携わる町内の組織全体で計画するものです。

委員 外部評価を図書館協議会でと明文化してあったのか。

委員 YAの評価として、今の利用者はこの人数だが、この取り組みをして利用者数および貸し出し冊数が増えれば効果があったと言える。最終的な目標は、利用人数や冊数を何パーセント増やすかということになるのではないか。

委員 家庭で親が子どもに本を読むことが大切である。読み聞かせが大切であることを親へ伝えることも重要である。

委員 最終的な評価として、一つずつ議論しながら、これはAです、Bです。とするのか。

委員 多賀幼稚園では、17日前後に防災訓練で防災に関する読み聞かせしている。このことも書いてはどうか。また、今年度、読書ノートが未実施となっているのはなぜか。

事務局 対象者には配布がされているためです。配布後に、転入された方などは持っておられない。HPからは印刷できるようになっている。

館長 外部評価については、一旦事務局預かりとさせていただいてよろしいか。

会長 その他全般で何かありますか。

委員 中央公民館に絵本があるが、選書は図書館でしているのか。

館長	その件については、現在図書館と団体と協議をしている。
委員	新成人やゾウのコーナーポップの案内について、成人式は入り口からすぐ見える場所にあったが、ゾウのポップはカウンター側を向いており、見えなかった。ポップの向きが全て同じ方がよかった。第6次多賀町総合計画も策定され、今後化石は多賀町の強みになる。博物館発掘プロジェクト時に展示と一緒にするなどしてはどうか。また期限が切れている事業チラシが館内に掲示されているので気をつけてほしい
事務局	今後注意したい。
委員	新聞で書いてあったが、他館では図書館の本が破れているものや切り抜いてあるものがあるとか。当館でもそのようなことはあるのか。 また、他館で、一日の間に100冊の貸し出しを繰り返すのは違法か適法かという話もあったが、これはどうなのか。
委員	100冊の貸し出しは職員の業務を圧迫しているかどうかもある。また貸出上限冊数を決めていないところもあるので、利用ルールに沿う必要がある。
委員	切り抜きや落書きはある。また風呂で読む方もある。この場合、状態で弁償となることもある。返却時等確認しているが、切り抜きや落書きを特定することは難しい。見落とすこともある。
委員	新聞の切り抜きは、年に何回かある。新聞などの無料券にはスタンプを押しているが、それでも、いつ切り抜いたのかと思う切り抜きがある。確認はしているが、本は最初からこの状態だといわれると、仕方がないこともある。
事務局	当館も新聞の無料券に事前にスタンプを押している。雑誌のクロスワードなどには書き込みがある。書き込みできないように上からブッカーをしているが、その上からでも書かれている。
事務局	最後に、博物館との連携について、ゾウに関する講演会を計画している。アケボノゾウではないが。そして関連する本の展示も併せて考えている。
会長	最後に副会長から閉会のあいさつをお願いします。
副会長	閉会のあいさつ